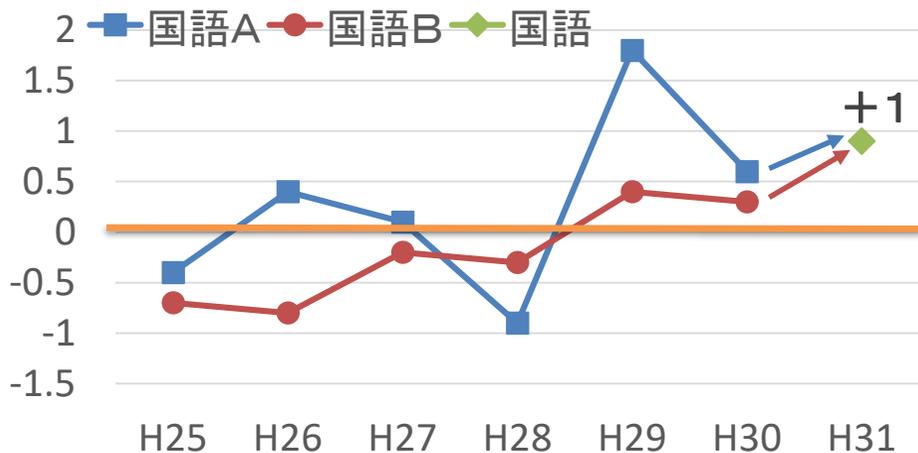


結果のポイント

1 全国平均との差の経年変化



○ 3年連続で全国平均を上回っている。

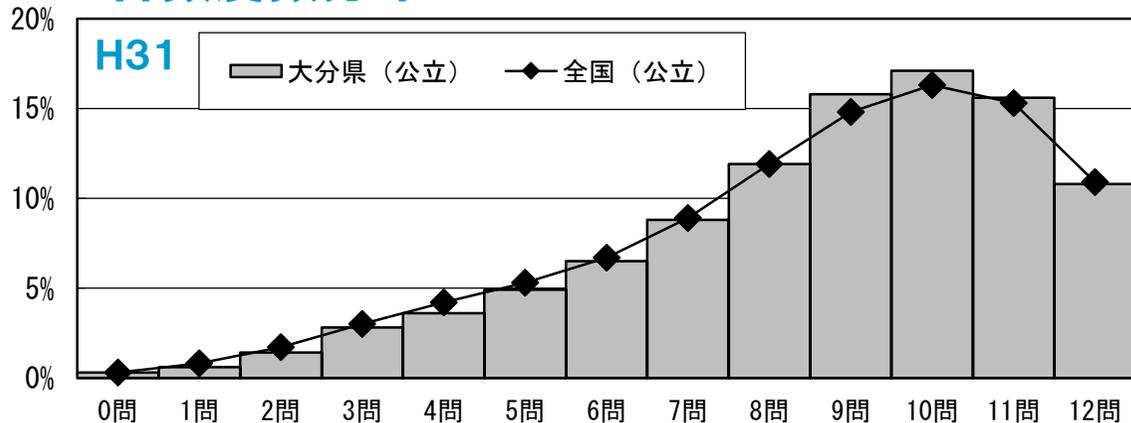
2 領域別の結果

領域	県	全国平均
話すこと・聞くこと	72.2	70.2
書くこと	83.6	82.6
読むこと	73.5	72.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	66.3	67.7

○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」領域では、全国の正答率を上回っており、各領域の全ての設問においても全国の正答率を上回っている。

▲「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の正答率は全国の正答率と比べ1.4p低くなっている。また、設問ごとの正答率においても全2問中2問で全国の正答率を下回っている。

3 正答数度数分布



○正答数が全国平均以上(8問以上)の生徒は、56.8%であり、過半数を超えている。

▲低学力層(正答率20%以下)の生徒の割合は全国値(2.3%)に比べ、若干低いものの、1.9%となっており、引き続き低学力層の引き上げが課題である。

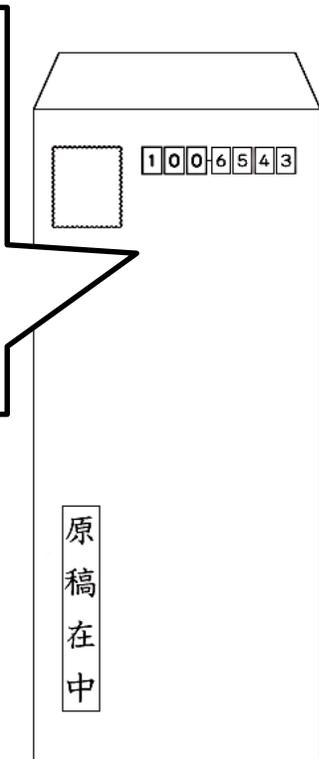
課題が見られた問題と指導の改善

1 正答率が低かった問題

大問1 設問四【平均正答率 大分県55.1% 全国56.8%】
封筒の書き方を理解して書くことができるかどうかをみる問題。

(正答の条件)

- ① 投稿先の名前と住所の正しい内容を楷書で書いている。
- ② 投稿先の名前に敬称を適切に付けて封筒の中央に書き、住所を封筒の右側に書いている。
- ③ 投稿先の名前を住所より大きく書いている。
- ④ 縦書きで書いている。



※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

条件1 封筒の書き方に注意して縦書きで書くこと。
条件2 投稿先は団体なので、「様」ではなく「御中」と書くこと。

四 あなたは、「声の広場」への投稿を封筒で郵送しようとしています。「全国中学生新聞」に示されている投稿先の名前と住所を、次の条件1と条件2にしたがって、楷書で正しい書き方を示してください。なお、自分の名前と住所は不要です。

反応率

	解答累計	反応率
1	条件を全て満たす	15.6%
2	①②④を満たす	39.1%
3	①②を満たす	2.8%
4	②④を満たす	16.7%
5	上記以外	20.5%
6	無解答	5.5%

指導の改善

【学習指導のポイント】

手紙の基本的な形式を理解し、文字の大きさや配列に注意して書くことができるようにする。

○手紙の基本的な形式に基づき、文字の大きさや配列に注意するなどして丁寧に読みやすく書くように指導することは、社会生活に役立つ書写の能力を育むために重要である。

○指導に当たっては、以下のような例が考えられる。

・第1学年「書くこと」(2)ウの「行事等の案内や報告をする文章を書くこと」や、第2学年「書くこと」(2)ウの「社会生活に必要な手紙を書くこと」などの言語活動を通じた学習。

・総合的な学習の時間との関連を図った指導。その際、手紙を書く相手を具体的に定め、郵便等を通じて実際に手紙のやり取りを行わせることも効果的である。また、表書きに宛て名や住所を正しく書くことや後付けにおける署名と宛て名の位置関係といった基本的な形式を押さえるなど、小学校での学習を想起しながら書くように指導する。

課題が見られた問題と指導の改善

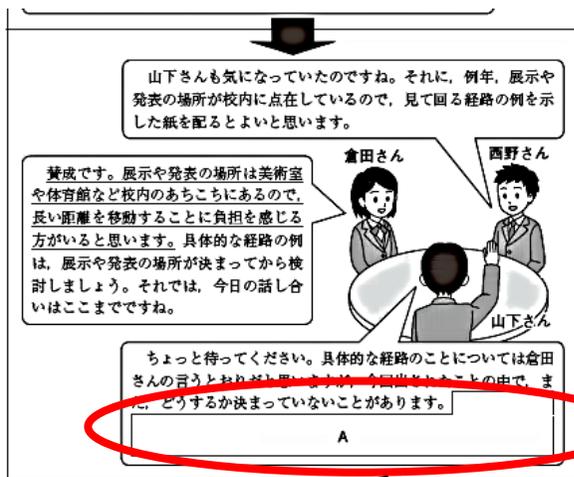
2 無解答率が高かった問題

大問2 設問三 【平均正答率 大分県63.9% 全国60.4%】

【無解答率 大分県 9.0% 全国 8.9%】

話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことができるかどうかをみる問題。

大問2は、生徒会役員の3人が、自分たちが取り組むことについて話し合っている場面。話合いの話題や方向を捉えたり、話合いの参加者に分かりやすく伝える表現について考えたりするとともに、提案された内容で未解決の部分に気付き、それを解説する具体的な自分の考えを表現する。



三 に入る内容を、次の条件に従って、実際に話すように書く。

<条件>

- 条件1 話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていらないこと」とは何かを明確にして書くこと。
- 条件2 条件1で示した「どうするか決まっていらないこと」を解説する具体的な案を考えて書くこと。

指導の改善

【学習指導のポイント】

話合いの話題や方向を捉え、自分の考えをもつことができるようにする。

○話合いをする際には、話題や方向を的確に捉え、自分の考えを持ちながら参加するように指導することが大切である。その際、必要に応じて、話合いの話題について確認したり、話合いの経過を捉えたりすることができるように指導することも重要である。

○指導に当たっては、以下のような例が考えられる。

- ・小学校での学習を踏まえ、司会の進め方や話合いの記録の仕方など確認した上で、実際に記録を取りながら話合いを行う。その際、話合いの途中で、それぞれの発言の仕方について留意すべき点を確認したり、目指している到達点に向けて取り上げる話題をどのように絞り込めばよいかを考えたりするなど、話合いの仕方を見直しながら進めるように指導することも効果的である。
- ・平成25年【中学校】授業アイディア例「話合いの動画を見ながら、司会の役割を話し合う」も参考になる。